



校長室だより

月立小学校 校長 鹿野田忠之
令和3年8月26日 発行
第4号

夏休みが終わり、元気な子供たちの声が学校に帰ってきました。今回の校長室だよりは、2学期始業式でお話しした内容を掲載いたします。校長として、子供たちに目標をもたせたいと考えています。

児童の皆さん、お帰りなさい。先生方みんな、皆さんが学校に帰ってくるのを楽しみに待っていました。さて、36日間の夏休みはどうでしたか？楽しく生活できたのではないかと思います。でも、友達に会うことができなくて、寂しくなった人もいたでしょうか？校長先生は、元氣な皆さんに会えて、とても幸せな気持ちです。

さて、夏休み前、校長先生からみんなに、三つのお願いをしていました。

一つ目、命を大切にすることでした。

二つ目は、「早寝早起き朝ごはん」を続けてほしいということでした。

三つ目は、新型コロナウイルス感染症対策をするということでした。

それぞれどうでしたか？一つ一つの振り返りはしませんが、しっかりできた部分とそうでない部分があると思います。人から言われて直すのではなく、自分自身で振り返ってみることが大切です。この三つのことは、2学期の生活の中でも大切なことです。きちんとできたところはこれからも続けてください。できなかったところは、2学期にきちんとできるように心掛けてみてください。お願いします。

1学期の終業式でお話ししなかった、2学期みんなに頑張ってもらいたいことについてお話しします。三つあります。

一つ目は、自分が思ったことや考えたことを、授業中にしっかり話してほしいということです。1学期授業を見て回ったときに、先生に質問されてもシーンとしている場面を見かけることがありました。きっといろいろと考えていると思うのですが、「はずかしいな」「間違ったら嫌だな」という思いがあるのか、意見が出てきていない場面を見ました。発表することで自分の考えをまとめる力や分かりやすく伝える力が高まります。最初は「はずかしいな」「間違ったら嫌だな」という気持ちに勝つ勇気が必要かもしれません。でも、何回か発表しているうちに、自然と自分の考えを発表することができるようになります。授業を見て回ったときに、みんながたくさん発表をしている場面を楽しみにしています。

二つ目は、友達の話をしっかり聴けるようになってほしいということ입니다。友達が一生懸命伝えてくれても、聴いている人がしっかり聴こうとしないと、考えは伝わりません。「○○さんは、自分の考え方と同じだな」「○○さんの考えと自分の考えは違うな…」「○○さんの考え方いいな」しっかり聴くと、友達の話もしっかり分かるようになります。また、しっかり話を聴いてもらっていると話している人もとても安心して話すことができます。話をしっかり聴くコツは、「反応しながら聞くことです」。話の内容が分かったら「うなずく」よく分からなかったときには、「首をかしげたり、質問したりする」こういう反応をしていくと、しっかり聴けるようになります。

三つ目は、本をたくさん読んでほしいということ입니다。本を読むと今まで分からなかったことが分かるようになり、新しい発見ができたりします。図書館の本、おぞら号の本、教室にある本、家にある本…みんなの身の回りには、たくさん本があります。今まで読んでいない本でも、読んでみたら実はおもしろかったという本もあります。ぜひ本を読んでほしいと思います。よかったら、おもしろかった本を校長先生も教えてください。

校長先生のお勧めは、「日本の歴史」という本です。歴史の勉強は6年生になってからですが、この本は、漫画になっている部分もあるので、下の学年の人たちでも楽しく読めます。

ぜひ一度読んでみてください。ちなみに校長先生は、小学4年生のときにこの本を読んで、歴史が大好きになりました。

1学期、皆さんはたくさん成長しました。2学期にもたくさん成長してほしいと思っています。そのために、今日は三つのお願いをしました。学校生活の中で少し意識しただけで違ってくと思うので、ぜひこの三つのことを意識して生活してみてください。

みんなで楽しい2学期にしていきましょう。

2学期もよろしく願いいたします

長い2学期がスタートしました。夏休み中、大きな事故やけがの報告がなく、大変安心しました。元気に過ごせたこと、何よりでした。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大が心配させるところですが、子供たちの安心安全な学校生活を確保するために、教職員一丸となって頑張っていきます。

保護者の皆様、地域の皆様の御理解・御協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。



月立っ子ギャラリー

2学期を迎えた子供たちを、きれいに咲き誇った花壇の花たちが出迎えてくれました。2学期も子供たちの頑張りを見守ってくれることでしょう。

